

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 030	提案機関名 畜産課
要望問題名 牛群管理システムの費用対効果検証について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ スマート農業について、国では、「農業新技術の現場実装推進プログラム（令和元年9月）」等により、技術の開発や普及を推進。県でも、かながわグランドデザインや神奈川農業活性化指針等においても、スマート農業技術の開発と普及に取り組むこととしている。 ○ 現在、牛群管理システムは、複数のシステムが市販され、県内酪農家や肉用牛農家でも導入が進んでいる。これまで手書きで記帳していた膨大な飼養管理データ（発情、分娩、疾病、治療、成績等）をクラウド上に整理し、経営者の記憶や勘に頼らない家畜の健康状態の見える化や、個体の異状・発情兆候等を自動検出することで、経営の効率化・省力化が期待される。 ○ 一方で、システムを導入した農家は、現状では若手や先進的経営にとどまっており、使い勝手の良さあしや費用対効果が課題になっていると聞いている。 ○ そこで、複数のシステムを比較検証し、本県のような小規模酪農、肉用牛経営に見合うシステムを提案していただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>牛群管理システムについては、すでに県内の酪農家でも導入されています。また、当所においても発情管理や乳量・乳質等が分かる管理システムをすでに導入しており、業務の効率化や職員間の情報共有化に効果を発揮しています。</p> <p>このようなシステムは、ご指摘の通り農家の業務改善に寄与すると考えられますが、イニシャルコストやデータ入力等の新たな作業の発生、経営規模が小規模である場合には必要性を感じないことなどが、普及が促進しない要因となっています。</p> <p>現在、当所普及指導課が県内農家の導入状況や利用効果を調査しており、ニーズの把握に努めます。システムを導入した農家経営が異なるため比較は難しいと考えます。</p>		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			